



# JHFレポート

# 7

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

1999年7月号



この度、4月6日の理事会において選任を受け、(社)日本ハンググライディング連盟会長に就任しました。

思えば、10年ほど前にふとしたきっかけでJHF社団化準備委員となつてから、準備理事、常任理事、総務局長、事務局長、副会長と、常にJHFを中心とした生活になってしまいました。その間、会長を助け、組織改革、技能証規程の改定、社団法人化、そして総合改革等、多くの事業に取り組んでまいりました。書いた書類・原稿を積み重ねると、ゆうに50cmを越えます。と書くと、自慢話のようですが、実はやり手がありません。貧乏くじを引いただけなのです。

しかし、1995年に社団法人となり、前回そして今回の役員選挙で若く有能な理事さんが参加するようになり、活気づいてきました。役務の分担も進み、世代交替が確実に進んでいると感じます。役員意識も名譽

## ごあいさつ

(社)日本ハンググライディング連盟  
会長 川添 喜郎

的な考えから実務的な方向へ動いていきます。私はこの若い世代と協力し一丸となつて、先代が築いてきた基礎に立ち、ゆるぎないJHFを構築するべく、次のことに取り組みたいと思っています。

1. 健全なJHF財政を確立します。  
3年前より取り組んできた総合改革を完成させるよう努めます。特に、JAAフライヤー登録制度を確実に移管し、会員の会費による連盟の健全な財政確立に努めます。また、予算の受益者負担、負担者への公平な還元にも努めます。

2. パラ・ハンググライディング活動の活性化に努めます。

かつて31000人台だったフライヤー登録有効者数が、26000人台に減ってきました。これ以上私たちの仲間を減らさないように、都道府県連盟や委員会と積極的に協力し合うとともに、特にJHF教員への後援・支援に努めます。

3. 業界との協力関係の構築に努めます。

JHFとエリア・スクール、メーカーとの共存共栄体制を提案します。三者の健全なバランスのとれた協力関係が、フライヤーの安心できる環境づくりに通じると信じています。ひと、場所、道具の調和のとれた、メジャーなスポーツへの完成を目指します。

4. 事務局の充実とサービスの向上、情報提供に努めます。

コンピュータデータシステムの導入、人的シフトの刷新、スタッフの研修を進め、フ

ライヤー会員登録、技能証発行、その他、事務の迅速化と会員へのサービスの向上を図ります。また、JHFレポートの個人向け送付やホームページの充実を進めます。

以上の他、取り組むべき課題は山積していますが、焦らず、まず基本的事項を着実に実現したいと思ひます。

「言ふは易し、行ふは難し」  
私は「行ふ」方に重点を置き、大胆に改革を進めたいと思ひます。百家争鳴では何も生まれてきません。一つの目的に会員の力が集中する時、絶大な前進があると信じます。まず、今取り組んでいる2000年1月実施予定の

JAAフライヤー登録制度移管

JHF会員会費制度の実施

JHFフライヤー会員登録開始

を成功させねばなりません。

正会員、フライヤー会員(現普通会員)をはじめ、業界、行政の皆さんから、全国的なご協力を賜りますよう、まず第一声としてお願いと決意を申し上げ、就任のごあいさつとします。

## 6月23日、JHF通常総会開催

6月23日(水)午後1時から6時まで、東京都羽田空港ターミナルビル・ビッグバード、ギャラクシーホールにおいて、1999年度のJHF6月通常総会が開催されます。全国の47都道府県から正会員が出席し、下記の議案について審議を行う予定です。

- ・1998年度事業報告
- ・1998年度会計決算
- ・1999年度会計補正予算
- ・JHF定款改正
- ・JHF会員規約

上記の定款改正とは、次の4ヶ所です。

第5条(2)「普通会員」を「フライヤー会員」に変える。

第7条「正会員及び賛助会員」を「会員」

に変える。

第8条第1項「総会の議決を経て、会長が別に定めるところによる」を削除。

第8条に「3 入会金及び会費の額は、総会の議決を経て別に定める。という一項を加える。

これらの改正案は、フライヤー会員・会費制度のスタートを念頭に提出されるもの。

2000年1月のフライヤー登録移管を前にして、JHF総合改革推進室では、三つの専門チーム(登録データシステム、会費保険制度、制度整備)が、それぞれの課題に取り組み、準備作業に励んでいます。秋にはシミュレーション段階に入る予定。今後のビジョンは次号でお知らせします。

## 空のかお

その22



羽賀勝洋さん(はがかつひろ)さん

幼い頃に初めて見たその瞬間からやりたいと思っていたハング。4年前から本格的に取り組み、いまでは2,000m以上ゲインする腕前になった。アフターハングでは合唱で磨いた美声も披露してくれるという彼の目標は、「世界レベルの大先輩を下に見て飛ぶこと」と、「フライヤーのお嫁さんをもらうこと」だ。

## 委員会の動き

### PG競技委員会 委員長 岡 良樹

このレポートが出る頃は、日本は全国的に梅雨に突入していることでしょうか。個人的には、できれば空梅雨であってほしいと思っています。

5月下旬に、今年度SPS第1戦が、茨城県は足尾エリアで開催されました。シブいコンディションの中、何とか初日に1本が成立。2日目はぶっ飛びコンディションのため、チーム対抗ピンゴターゲットとなりました。初戦の勝者は薬師寺選手。昨年度トップの松本選手は手堅く4位と健闘しました。この先、週末が好天に恵まれ、SPS、ジャパンリーグともに、よいコンディションの下、大会が成立することを願っています。

また、7月上旬からオーストリアで開催されるパラグライディング世界選手権に参加する日本チームは、すでに現地に入り、準備に余念がないことと思います。今年度は厳しい財政のため、十分な援助ができませんでしたが、前回にも勝る活躍を期待しています。なお、大会の様子は速報としてJHFホームページで見られるようになる予定です。ぜひ応援しましょう。

### HG競技委員会 委員長 大澤 豊

1999年ポイントシステムの上半期の大会が終了しましたので、ポイントの中間報告書を登録者全員に郵送します。質問やクレームのある方は、HG競技委員会までご

連絡ください。また、ホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

8月12日からの阿波踊スカイオープンまでは、国内でのポイント大会はありませんので、8月以降の大会に関しては、次号よりお知らせします。

HG競技委員会事務局への連絡は下記へ。  
FAX:0299-44-1346  
E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp  
http://tomato.saino.ne.jp/haku/JHF-HG.html

### 教習検定委員会 委員長 島野 広幸

JHFの発行するパラグライディング教本は、全国の多くのスクールで使用され、好評をいただいておりますが、いまだハンググライディングの教本は作成されていません。必要性は十分に感じていても、実際に作るとなると、やはりたいへんです。今年度より、担当理事に岩間雅彦氏を迎え、ハング用のエネルギーをチャージしながら、重い腰を上げこの作業に着手します。2000年の発行をめざして、まずは執筆者選びから始めます。ご意見・ご要望をお寄せください。FAX:0559-74-3458(島野広幸)まで。お待ちしております。

### 制度委員会 委員長 小林 秀彰

制度委員会では「フライヤーのための組織運営が行える制度を考える」ことを目的に、下記の項目に取り組んでいます。

2000年の会費制度が確立した場合の都道

府県連盟規約の検討について

フライヤー会員制度の新設にともない、都道府県連盟の定款(規約)の見直しが必要になります。そこで一つの案として制度委員会案を作成し、参考資料にいただければと考えています。

トーイング技能証について

現在の日本の状況では、エアロトーイングについては法律の問題が発生します。ウインチトーイングについては法律上の問題はないと考えられますが、今後海外の資料を集めながら、継続課題とします。

セーフティーアワード(安全フライト表彰)の件

USHGAの現状を調査した結果で、再検討が必要ようです。日本に合った形での導入を提案したいと考えています。あわせてセーフティーフライトの確認も行えるログブックの提案も考慮中です。

クロスカントリー技能証の見直し

競技を行うとき、クロカン技能証を有しない場合に大会への出場が制限される意見をよく聞きます。技能証規定の見直しも含めて、アンケート調査を行ってはどうかと考えています。理事会の承認が取れば、アンケートを実施したい考えです。

規定集作成について

現行のJHF技能証規定を含む諸規定が1冊にまとめられていません。用語・表現の統一、形式の統一も考え、JHF規定集の作成にあたりたいと考えています。第1章が組織、第2章が技能証規定の予定。

## 県連ニュース

### 北海道ハンググライディング連盟

当連盟の総会が、去る4月11日(日)札幌市で開かれました。なにぶん広い北海道のこと、理事・正会員が全員揃うのは難しいのですが、多くの方が出席してくれました。役員改選では、連盟の活動をより活性化するため、数人の理事の入れ替え、委員会の充実が諮られ、特に今回は補助動力委員会を充実させ、補助動力とFML愛好者の活動の掌握をめざし、両者が融合した大会を開催できないか、検討中です。

理事長は、引き続き長谷川栄次氏の留任となりました。また、JHFの補助がなくなった無料体験会は、北海道スカイスports協会の協力を得、今年度も開催することが決められました。

小さな連盟なのですが、活動範囲が広く、理事・理事長の負担は大きなものがあります。ぜひ、当連盟の活動に、フライヤーの皆さんの協力をお願いします。吉野正規

### 宮城県ハンググライディング連盟

4月は、他聞にもれず宮城県連も役員の任期満了に伴う改選の月にあたり、去る4月29日の総会において、全会一致で役員立候補者13名全員の当選が認められ、以下のよ

うに小野寺新理事長を筆頭にした新体制で今年度の県連の運営を執り行うことが決定しました。

- ・理事長：小野寺幸則
- ・副理事長：菅野剛広、渋谷力弥
- ・専門委員会担当理事  
教習委員会：尾形梅三郎、三品隆  
安全対策委員会：小野寺幸則、小川健一  
競技委員会：西村武志、山谷武繁
- ・広報担当：川越敏明、川村真
- ・会計担当：林昭宏
- ・事務局担当：相澤満、菅野剛広
- ・監査役(監事)：橋本治、千葉功
- ・委託幹事 広報担当：岩松正明  
会計担当：飯塚とみ子  
事務局担当：秋濱哲男

以上です。今年度も何とぞよろしくお願ひ申し上げます。 川越敏明

福岡県ハング・パラグライディング連盟  
福岡県連では、各エリアに「スパインボード」を配付することを決めました。スパインボードとは、脊椎損傷の恐れのある時に使用する担架です。また、配布に伴い、「サムソン」さんこと後藤望氏を講師に招き、使用方法についての講習会を6月13日に開

催します。本当は、スパインボードを使わないに越したことはありませんが、いざという時に使えなければ宝の持ちぐさです。この講習会の様子は、次号で報告する予定です。 越智善治

### 鹿児島県ハング・パラグライディング連盟

5月16日(日)、県連主催のレスキュー講習会&レクレーションフライトを、日置郡入来町愛宕山ピスタパークと入来町体育館で開催しました。

午前中はレクレーションフライトを行い、午後2時から地元、消防の救急隊員4名の方々による「救命救助について」のセミナー。携帯電話で通報する場合や、状況に応じた応急処置、出血を止める方法等、聞くだけでなく、実技を交えてのセミナーは勉強になりました。また、その後はレスキューパラの投げ方やリバックの方法などについてのセミナーを行い、実践的で有意義な一日でした。会員のコミュニケーションが図れたのも大きな収穫です。黒木悦子

「県連ニュース」は、各都道府県連盟の広報係から原稿をもらっています。県連の皆さん、積極的に情報をお送りください。



# TANZAWA SKY CLUB

## 丹沢スカイクラブ



テイクオフ地点から眺める富士山の姿は格別。

我等がクラブ、丹沢スカイクラブは、神奈川県西部の東西10数キロに渡る丹沢山系を飛行エリアとする、会員制のクラブである。ハング、パラ混成のクラブで会員総数は150名になる。丹沢は登山訓練所もあるくらいでかなりの急斜面や、がれた斜面もあり、テイクオフ直下には高圧線も走っている。ランディングまでは、ハングテイクオフから約3.3km、パラテイクオフからは3.8kmほどあり、高度差はそれぞれ600m、900mになる関東でも屈指の大型エリアである。ランディングも学校が横にある畑の中の一角を地主の厚意で利用させていただいている。こういうことから、ビジターフライトは認めておらず、クラブの定めた試験をパスした人だけに飛行してもらっている、特殊なエリアである。クラブの運営は、20数名の役員が中心となって行っていて、盆暮れの地元への挨拶回りから、テイクオフの整備、ランディング周辺の農耕地の草刈り、地域のイベントへの協力と、会員一丸となって運営に当たっている。いろいろと手

間のかかる事が多いのだが、それをするだけの価値のある、大きなフライトが出来るエリアなのである。

さて、それでは少し、そのフライトの様子を紹介しよう。丹沢エリアがもっとも楽しいのは12月～4月のいわゆるサーマルシーズンと呼ばれる時期で、冬型の気圧配置が若干緩んだくらいのときがベスト。日本列島に等圧線の縦縞が5本くらいまっすぐに入るようなとき、とびきりの条件になることがある。こんな時は関東北部のエリアは北西の季節風で飛べないことが多い。10:30を過ぎるころからブローが入り始め、テイクオフ前でのソアリングが可能になる。直ぐに4、500mのゲインが可能だ。そのまま西に尾根伝いに流していけば、次の大きなサーマルポイント、花立て尾根に着く。ここは比較的安定した大きなサーマルの出るところで、海拔2000mを超える上昇は珍しくない。更に西に流していけば、鍋割山に至る。通常のコンディションならテイクオフから約5kmのここでテイクオフへ戻る。


条件さえよければ、ここでも2000m以上に上がるので、さらに西へも行けるし、南に向かって、平野のサーマルを狙っても行ける。テイクオフから東側3kmのところには、丹沢山系でも有名な大山がある。大山には上社、下社と2つの社があり、多くの登山客がくる。クラブ員はここに空から詣でに行くのだ。ただし、空から詣でるには途中にある高圧線を超えねばならず、神様はそうそう自分よりも上からは拝ませてくれないのだ。

これだけの大きなエリアを楽しめる我々丹沢スカイクラブ員はとても幸せだと思う。出来ることなら多くの人にこのエリアでフライトさせてあげたいと思う。そうそう、ハングフライヤーにはチャンスがある。丹沢スカイグランプリという、ハングフライヤーには有名な大会である。日本のトップフライヤーも参加するこの大会は毎年好評だ。一気に雲底まで上げてくれるサーマルに出会えるかもしれない。

検定会開催予定(1999年5月26日現在)		PGP : PGパイロット学科 PGNP : PGノービスパイロット学科 HGP : HGパイロット学科 XC : PG&HGクロスカントリー学科 補助:補助動力学科 (いずれも数字は定員)									
開催日	時間	開催地	会場	PGP	PGNP	HGP	XC	補助	主催者	電話番号	
7/4(日)	10:00~16:00	福井県勝山市	スキージャムエリア管理室内	10	10		10		ディクロスPGスクール	0776-23-4411	
7/10(土)	18:00~21:00	静岡県引佐郡三ヶ日町	スカイトライパラハングライダーショップ	10	10	10			JPMスカイスports	053-526-0015	
7/11(日)	15:00~18:00	長野県下伊那郡平谷村	JMB中部PGスクール	10	15		5		JMB中部PGスクール	0265-49-2853	
7/17(土)	14:00~17:00	岡山県阿哲郡大佐町	S.E.T.大佐山講義室		20				SET大佐山SS	0867-98-3400	
7/17(土)	12:00~16:00	静岡県田方郡函南町	(ex)イクス	10	15	10	10		(ex)イクス	0559-74-3439	
7/25(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196	
8/8(日)	18:00~20:00	神奈川県横浜市神奈川区	県民センター	15	15	15	15	1	神奈川県ハングパラグライダー連盟	0460-3-5391	
8/29(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196	
9/7(火)	17:00~20:30	神奈川県横浜市戸塚区	東戸塚地区センター会議室	10	10	5	5	3	ヨコハマスカイスports	0460-3-6958	
9/26(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196	

大会開催予定(1999年5月26日現在)		PS:ポイントシステム対象(ポイントシステム対象、公認については申請中を含む。)参加資格 XC:クロスカントリー証 P:パイロット証 NP:ノービスパイロット証 B:B級練習生参加可 会員:都道府県連盟に属する者					
区分	大会名	日程	開催地	参加資格	参加費	締切	
公認	パラグライダーフェスティバルIN浜名湖	7/31・8/1	浜名湖フライトパーク	P・B県連加入	11,000円他	7/4	
PS&SPS	静岡県引佐郡三ヶ日町大谷310-7 静岡県連	TEL.053-526-0141					
公認	'99立山らいちょうパレーカップINサマー	7/31・8/1	らいちょうパレースキー場	XC	10,000円	7/19	
PS	〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 TEL.03-3608-8626						
公認	スカイグランプリ '99獅子吼パラグライダー選手権大会	8/6~8	石川県獅子吼高原	P	20,000円	7/9	
PS	〒920-21 石川県石川郡鶴来町本町4丁目又85 役場商工観光課内 TEL.07619-2-1111						
公認	'99高山ホルンパレーカップ	8/28・29	高山ホルンパレー	XC	15,000円	8/17	
PS	〒125-0031東京都葛飾区西水元6-22-15 TEL.03-3608-8626						
公認	'99Cooフルーツカップ	10/9~11	エアパークCoo	XC	20,000円	9/30	
PS	〒315-0157 茨城県新治郡八郷町上曾1698-1 エアパークCoo 大会実行委員会 TEL.0299-44-1408						

訂正:6月号掲載の「パラグライダーフェスティバルIN浜名湖」の日程は間違っていました。上記が正しい日程です。訂正してお詫びします。



## 埼玉県ハング・パラグライディング連盟

理事 長島 信一

埼玉県の県連盟の歴史は古く、県単位の活動になった際には最初にJHFへの登録を行っています。連盟としての活動は発足当初より県連大会を冬と初夏の2回行い、会員の交流の場作りに努力してきています。2年前からは冬1回の大会に的を絞り、内容の充実した大会を目指して開催を続けています。特に今年度の堂平山スカイラブエリアにて行った大会では、天候にも恵まれ日頃の成果を存分に出しきれた大会となりました。



スカイラブのランディング場は整備された草原。

また、安全講習会や気象講習会なども開催し、より楽しく飛ぶための情報を的確に知ってもらうようにしています。

埼玉県では3つのエリアが秩父方面を中心に活動しています。どこもアットホームなエリアで楽しいフライトがいつでも出来る環境です。都市圏から1~2時間以内で行ける距離なので、朝の天気を確認してからエリアへ来ると言う人も多く、埼玉のエリアは、気軽に訪れることが出来る、身近なエリアとして育ってきています。どのエリアも高度差としては200~300m程度ですが、サーマル条件になれば1000m以上のゲインは珍しくなく、1年中フライトできる所ばかりですので、一度飛ばさないと気になっていただけることでしょう。

現在の会員数は140名程ですが、県内エリアで飛ばれている方ばかりでなく、あらゆるタイプのフライヤーが加盟したくなるような魅力ある連盟作りを目指しています。



南向きで穏やかなブローが入る破風山テイクオフ。

県内在住のフライヤーは約1600名、2000年にはフライヤー登録の関係からこれらのフライヤー全員が県連会員になる可能性があるわけですが、県連としては会員の方の為に何が出来るか何をすべきかを、この機会に考え直して新たな埼玉県連として大きく飛躍しようとしています。それには県連会員の皆さま一人一人のご協力が是非とも必要です。楽しく飛ぶ為の基礎作りに、多くの方の参加をお待ちしています。

事務局連絡先  
〒336-0017 埼玉県浦和市南浦和3-33-14-2F  
(有)ジェネス内

## 大会報告

### ハンググライディング日本選手権プレ大会 in 岩手

1999年4月24日~4月28日

#### 岩手県遠野フライトエリア

- |    |       |     |         |
|----|-------|-----|---------|
| 1位 | 安東 正男 | 東京都 | 2025.0点 |
| 2位 | 後藤 登  | 愛知県 | 1935.0点 |
| 3位 | 佐藤 信博 | 山形県 | 1354.1点 |
| 4位 | 大沼 浩  | 茨城県 | 1318.6点 |
| 5位 | 大門 浩二 | 茨城県 | 1253.9点 |
| 6位 | 峰岸 正弘 | 茨城県 | 1218.3点 |

西暦2000年春に開催予定の日本選手権の前哨戦。大会スタッフも選手もやる気十分。3本のフライトが成立し、ポイント大会としても成立。1本目、3本目は大会日和とは言えないコンディションだったが、逆に腕の差がでた。遠野は4、5月がサーマルのベストシーズン。今回は東の風、南西の風、西の風が吹いたが、一つの山(山谷川)の3テイクオフで対応。1本目、峰岸選手一人がゴール。2本目、安東、後藤、大沼選手3名がゴール。3本目、9名がゴール。タスクの設定は天候から見てベストだった。広いエリアではないために地形と天候の読みが成



左から2位後藤、1位安東、3位佐藤各選手。

績にでた。遠野での日本選手権は西暦2000年の5月のゴールデンウィークに開催予定。

#### 第15回池田山フェスティバル(HG)

1999年5月1日~5月5日

#### 岐阜県池田山エリア

- |    |       |     |         |
|----|-------|-----|---------|
| 1位 | 岩瀬 達夫 | 徳島県 | 2346.7点 |
| 2位 | 峰岸 正弘 | 茨城県 | 2147.8点 |
| 3位 | 藤田 直己 | 東京都 | 2138.7点 |
| 4位 | 今嶋 功  | 鳥取県 | 2084.3点 |
| 5位 | 丹羽 英行 | 大阪府 | 1996.8点 |
| 6位 | 堀口 道明 | 埼玉県 | 1891.5点 |

(女子の部)

- |    |       |     |        |
|----|-------|-----|--------|
| 1位 | 香川 祥子 | 大阪府 | 945.9点 |
| 2位 | 陶山 園恵 | 兵庫県 | 919.9点 |
| 3位 | 岡田 明子 | 静岡県 | 814.0点 |

今年には天候にも恵まれ5日間で3日間の成立で、その3日間も0点はいたものの全員がゲインし、まずまずのタスクが組めた。3日間ともトリッキーで、テイクオフのタイミングはそれほどではなかったが、山からの飛び出しのタイミングが明暗を分けることになりました。

#### '99 NASA SPS CUP (PG)

1999年5月15日・16日

#### 茨城県足尾山エリア

- |    |       |     |        |
|----|-------|-----|--------|
| 1位 | 薬師寺 哲 | 愛知県 | 1000点  |
| 2位 | 野村 延央 | 千葉県 | 867.4点 |
| 3位 | 池田 真一 | 茨城県 | 838.6点 |
| 4位 | 松本 一郎 | 石川県 | 820.2点 |
| 5位 | 長田 修一 | 栃木県 | 811.5点 |
| 6位 | 井岡 孝一 | 東京都 | 804.7点 |

(女子の部)

- |    |       |     |        |
|----|-------|-----|--------|
| 1位 | 深田美代子 | 千葉県 | 770.7点 |
| 2位 | 松田由紀子 | 茨城県 | 270.4点 |
| 3位 | 田中 恭子 | 千葉県 | 270.4点 |

足尾NASAエリアで行われるSPSは、今シーズンも第1戦ということで全国から98名もの選手が参加することとなった。当初は不安定な気象が予想されたが、初日は弱い日射もあり5.7kmのスピードランが行われた。13名がゴールメイク、20名がミニマムクリアでフライト成立となった。2日目は曇り、ソアリングコンディションではなかったため、チーム戦でピング式ターゲット大会を行った。選手間の親睦も深まり盛況であった。結局、初日の成績がそのまま総合成績となり大会を終えた。



遠野エリアのテイクオフ地点で。左から2人目が盛川実行委員長、3人目が滝ヶ平競技委員長。

## ハンググライディング日本選手権を手中に

大門浩二。1965年生まれ。19歳の誕生日に、会社の同僚に誘われてハンググライディングスクールへ。わずかだが浮くことができ、さっそく中古機を購入してフライヤーの仲間入り。やがて競技がおもしろくなり、27歳で会社を辞め、世界選手権をめざす。秋田のスクールでインストラクターの仕事をしながらかを磨き、98年のオーストラリアでの世界選手権に日本代表として出場。99年3月、日本選手権優勝。そして、今夏イタリアで開催の世界選手権に再びナショナルチームメンバーとして出場する。

\*

日本選手権者。やりましたね。ズバリ勝因は？

大門 去年のコンペシーズンにヨーロッパに行き、トップフライヤーと飛べたので、スピードフライトもできるようになったんです。それがよかった。あくまでも世界選手権への過程という意識で、日本一を狙おうと思ってたわけじゃないんで、肩の力が抜けてよかったかもしれません。日本のトップと競っても負ける要素はないし。

天候にあまり恵まれなかったのが残念。

大門 上々のコンディションでも、日本一を取れる気持ちは十分あります。もっとたくさん飛びたかったけれど、しかたないで

すね。今回のオーガナイズは、素晴らしいと思います。地元の方のご協力も素晴らしいし、ハングを盛り上げるイベント性や選手へのサポート……天気以外は100点満点でした。

スクールも辞め、ハング一筋の生活に入った甲斐がありましたね。ここまでハングに打ち込むことになったのは、オーストラリアでの経験が決定的な……

大門 頑張っ、オーストラリアで世界選手権出場を実現して。でも、思ったような成績が出せなかった。参加するだけじゃ、つまらないんです。表彰される人々を見て、悔しい思いが残って、片手間にやっても同じ結果しか出せない、と。それならハング一本でやってみよう、生活を切り替えたいんです。

二度目の世界選手権が目前です。日本チームでは一番にヨーロッパに入るそうです。

大門 世界のトップフライヤーと一緒に飛んで腕を磨いていかないと、通用しないんです。2ヶ月ぐらい前に向こうへ行って、自分なりの調整をしておきたいと思っています。

好きなこととはいえ、今のテンションを保ち続けるのはたいへんです。

大門 金と時間とやる気が続く限り、やっていきたいですね。体力や知識、やる気は問



日本選手権を勝ち取ってニコリ。

題ないけど、時間と金は大きな問題です。年をとって競技をやめても、棺桶に足をつこむまで空を飛びたいと思っています。どういう形になるかわからないけど、死ぬまで飛びたい。

大門さんに続く若い人たちにひとこと。

大門 「自分の道は自分で切り拓く」ということ。自分を振り返ってみると、もっと若いうちに世界をめざす環境を作ろうと思えば作れたんです。でも、それだけの考えがなかった。若いうちは失敗してもいいから、思いっきりやってみることで。やらないことにはわからないんだから、ガンガンやれ！と。前回の世界選手権者、ギドがいい例だと思います。

\*大門さんは5月27日に渡欧。現在、世界のトップと飛びながら調整中です。

## ドイツの空を家族4人でタンデムフライト

て何かを為し遂げた時に、本人も観る人も感動するというので、じゃ両親も連れて行って感動をプレゼントしようと、タンデムフライトすることになりました。

最初は、タンデムのことをご両親に内緒にしていたのですが。

川地 はい。3日目だったと思いますが、私と妻がお城の上を飛んで、夢が叶ったと。ランディングして「どうです、お母さん、飛んでみませんか」と。「おもしろいから、やってみましょうか」と、意外にあっさり。でも、テイクオフ地点に行ってみると、とてもじゃないけどこんなところから飛べないという話になって、スツアモンダあったんですけども。

4月23日から30日まで、何日飛べたんですか？

川地 4日飛べましたけど、コンディションがよかったのは2日目・3日目ぐらいで。あとはサンダーストームが来たり、安全を考えて飛ばなかった日もあるので、結局タンデムできたのは最終日の29日でした。

ご両親の反応はどうでしたか。

川地 月並みな表現ですけど、よかった、遠路はるばるドイツまで来た甲斐があったと。妻の夢も実現してメダタシ、メダタシということで、かなり感動してました。

富士美さんもポイント女子3位のコン

ペティターですが、タンデムの経験は？  
川地 タンデム用の機体が借りられた時には二人で飛んで、途中でコントロールを交代したりしています。今回のために、私がパッセンジャーになって練習もしました。

本番では、富士美さんがお父さんと、川地さんがお母さんと飛んだんですね。

川地 ええ、母はお城が見えたら「もういいから下ろして」って。でも父は全然平気で「ロープウェイが近いからもっと離れる」とか指示するんで、妻が「うるさくてしょうがない」なんて。

どんなことに気を付けましたか。

川地 パッセンジャーをできるだけ不安がらせないで、飛んだことに対する喜びを、思い出を残してあげられるように配慮しました。ただ高く怖いという思いだけが残っちゃうと元も子もないので、一番気を付けたことです。とにかく楽しくフライトできた、と。母は「別に怖くなかった」と言ってくれました。サーマルでフワフワした時には、揺らさないで！と騒いでましたけど。父は「おもしろいもんだ、今から始めても飛べるかな」なんて。もちろん大丈夫ですよ！と。この春、定年退職したんで、パラをやってみてもいいかなと言ってます。

\*前号で番組放送日をお知らせしましたが6月5日に変更になりました。



ノイシュバンシュタイン城を背に家族4人で。

川地正孝。日本のパラグライディング界を代表するトップコンペティター。国内はもとより世界選手権での活躍ぶりも目覚ましい。その川地さんが、結婚したばかりの富士美さんと、ドイツのノイシュバンシュタイン城上空をタンデム飛行した。富士美さんの両親をそれぞれパッセンジャーに。

このフライト旅行の様子は、テレビ朝日系の「ドキドキ世界大冒険」という番組で放送され、4人の感動が全国に伝えられた。

\*

今回のタンデムフライトは、テレビ局への企画応募から始まったそうですね。  
川地 最初はタンデムじゃなくて、妻がメインの話だったんです。ノイシュバンシュタイン城の上を飛びたいというのが、妻がバラを始めたきっかけ。テレビ局の企画に「夢を叶えます」というようなのがあって応募したら、おもしろいと取り上げてもらえたんです。でも、ただ飛ぶだけではおもしろくない、困難なことを克服し

ハロ-

パラグライディング (その3)

道具はどうするの？

ユカリ：パラグライダー始めたんですけど！すごい！私もずっとやってみたいと思っていたのよ。

ユウジ：とっても楽しいよ。ゆかりさんも始めればいいのに

Y:でも道具がたいへんじゃないの。値段も高そうだし...

K:体験コースや入門してしばらくの間は、スクールの道具を貸してくれるので心配ないよ。

Y:そうなんだ。だったら気軽に始められるかも。でもいずれは自分のものを買うことになるのかなあ。

どんな道具(機材)を使うのか

パラグライディングには、次のような道具が必要ですよ。

パラグライダー本体

機体。グライダーと呼ぶこともある。

ハーネス

パラグライダーの操縦席。これを身体に装着してパラグライダーに接続する。高度飛行を始める時は、ハーネスに緊急用パラシュートを取付ける。

カラビナ

機体とハーネスを接続する金具。

ヘルメット

必ずサイズの合ったものをかぶる。

その他

ステップアップしたら、コンパスや計器類も使用する。

「一日体験コース」や「A級コース」の間は、ほとんどの場合スクールで用意している機材を借りて練習します。ですから、自分で用意する必要はありません。というより、エリアの条件によっては使用する機材が異なってくるために、インストラクターに相談せずに自分で機材を用意しても、実際には使えないこともあります。ですから初めてスクールに行くときには、道具の心配より、服装や持ち物などをよく聞いてお

くとよいでしょう。

自分の機材を持つ

他のスポーツの道具と同様、パラの機材も使っている間に傷んだり、故障したりすることがあります。テニスをしていてラケットのガットが切れてしまっても、命に関わることはありませんが、飛んでいるときにパラグライダーが破けたりしたら大変です。ですから上級コースに進んだり、高高度飛行を行うようになると、「機材を管理して、故障や不具合なく、いつでも安全に使えるように保つこと」を、自分の責任でやらなければ、安心して飛ぶことができません。そこで自分の機材を購入することになります。大空を飛び回るための自分の翼を手に入れたら、パラグライディングへの思いもいっそう強まることでしょう。



理事会ダイジェスト

5月14日理事会

1999年5月14日(金)13時30分~17時  
東京都港区立生涯学習センター202学習室  
出席：朝日和博・岩間雅彦・川添喜郎・小林朋子・関谷暢人・田中美由喜・松田保子・松永文也・横尾和彦各理事、坂本三津也監事  
欠席：星野納・渡邊敏久各理事、宮川雅博監事  
議長：岩間雅彦  
事務局人事について報告

川添より、事務局の矢ヶ崎氏と新しい雇用契約「1ヶ月8日勤務」を結んだ件、報告あり。また、小林より、パート雇用契約を結び事務局の仕事をするようになったと報告があった。

HGプレヨーロッパ参加について

HG競技委員会担当の松永より報告。7月のHGプレヨーロッパへのエントリー手配をしている。JHFは費用の負担はしない。

JHF定款一部改正の総会上程案について審議

川添より、文部省に相談のうえ了解が得られれば、定款の一部改正を総会議案として提出し、6月総会で承認されれば、正式に文部省に申請するという手順の説明あり。改正部分は4ヶ所。第5条(2)「普通会員」を「フライヤー会員」に。第7条「正会員及び賛助会員」を「会員」に。第8条第1項「総会

の議決を経て、会長が別に定めるところによる」を削除。第8条に「3 人会金及び会費の額は、総会の議決を経て別に定める。」という一項を加える。審議の結果、賛成8で案を可決。

1998年度会計決算案について審議

案を作成した朝日より、決算の内容について説明あり。質疑の後、審議を行い、賛成8で案を可決。

1999年度補正予算案について審議

案を作成した朝日より、補正予算の内容について説明あり。質疑の後、2000年1月のフライヤー登録移管・フライヤー会費制度スタートに関連する「特別事業推進費」を含む補正予算を提案するという形で、審議。賛成8で「特別事業推進費」を含む補正予算案を6月総会に提出する旨、可決。続いて、「特別事業推進費以外の補正予算案について審議。賛成7、反対1で1999年度補正予算案を可決。

JHF登録データシステムの構築について審議

総会改革推進室登録データシステムチームの小林より、システム構築の内容について説明あり。質疑の後、審議。フライヤー登録移管後の発行カードは「フライヤー会員証(登録証)」と「技能証」を一緒にする案1が賛成2、別にする案2が賛成6。フライヤー

会員証と技能証は別のカードにすることに決定。続いて、会員証カードの形態について検討。また、データ管理システムの仕様については、業社(7社)からの見積もりが出たところで、その結果を理事会メンバーに文書で回すことにする。

HG世界選手権日本代表チームの承認について

HG競技委員会担当の松永より、世界選手権のチームリーダーとアシスタント、クラス2選手2名の承認願いが出された。クラス2のパイロットについては、参加希望者を募る記事がJHFレポート6月号に載るため別途承認とし、チームリーダー内田孝也、アシスタント中村庸十を賛成8で承認。

海外取得ライセンスについて協議

海外でタンデムのライセンスを取得したフライヤーから、JHFタンデム技能証への移行措置などの配慮をしてもらえないかと要望あり。国内の検定会に参加してもらうこととする。

\*

「理事会ダイジェスト」は、理事会で話し合われたこと、決まったことのポイントをお知らせしています(審議事項はすべて掲載)。理事会の議事録は各正会員(都道府県連盟)に送られるので、必要な方はそちらをご覧ください。 JHF 広報出版局



## 日本ハンググライディング安全性委員会 (JHSC) 議事録

日時：1999年4月15日(木) 13時～17時  
 場所：航空会館6階602会議室  
 出席者：[委員] 斎藤紀、岡良樹、泉秀樹、幸路尚文

委任状 阿部郁重、下山進、野口常夫  
 [オブザーバー] 小林朋子  
 [機体登録申請者] エコーウィンドパレー株式会社、ファルホークインターナショナル有限公司

技術部会(型式登録審査)

パラグライダー・新規登録

- ・DAE KYO 式 EDEL PROMISE XS型 (合格：PI-690)
- ・DAE KYO 式 EDEL PROMISE S型 (合格：PI-691)
- ・DAE KYO 式 EDEL PROMISE M型 (合格：PI-692)
- ・DAE KYO 式 EDEL PROMISE L型 (合格：PI-693)
- ・DAE KYO 式 EDEL PROMISE XL型 (合格：PI-694)
- ・SWING 式 ARCUS S型 (合格：PI-695)
- ・SWING 式 ARCUS M型 (合格：PI-696)

- ・SWING 式 ARCUS L型 (合格：PI-697)
- ・SWING 式 MISTRAL S型 (合格：PI-698)
- ・SWING 式 MISTRAL M型 (合格：PI-699)
- ・SWING 式 MISTRAL L型 (合格：PI-700)
- ・SWING 式 SINUS S型 (合格：PI-701)
- ・SWING 式 SINUS M型 (合格：PI-702)
- ・SWING 式 SINUS L型 (合格：PI-703)
- ・SWING 式 ASTRAL S型 (合格：PI-704)
- ・SWING 式 ASTRAL M型 (合格：PI-705)
- ・SWING 式 ASTRAL L型 (合格：PI-706)
- ・AIR WAVE 式 HARMONY 24型 (合格：PI-707)
- ・AIR WAVE 式 HARMONY 27型 (合格：PI-708)
- ・SWING 式 VENTUS 2M型 (合格：PI-709)
- ・AIR WAVE 式 FUSION XS型 (合格：PI-710)
- ・AIR WAVE 式 FUSION S型 (合格：PI-711)
- ・AIR WAVE 式 FUSION M型 (合格：PI-712)

- ・AIR WAVE 式 FUSION L型 (合格：PI-713)
- ・AIR WAVE 式 HARMONY 30型 (合格：PI-714)

ハンググライダー・新規登録

- ・AEROS 式 STESTEALTH 13 KPL2型 (合格：I-176)
- ・AEROS 式 STESTEALTH 14 KPL2型 (合格：I-177)

定例委員会

JHF 小林朋子理事から、CIVL FAI 国際ハンググライディング委員会) 会議への出席報告を受けた。

安全対策部会の泉部会長から事故調査に関し、次の提案があった。

- 1) 事故報告書の提出がない場合は、都道府県連に事実関係の確認を依頼する。
- 2) 必要な場合は、委員が現地調査に赴く。
- 3) 機材に疑問がある時には、その機材を提供してもらえるよう図る。

斎藤副委員長が、携帯用距離測定器の購入を發議し、承認された。

## 理事からひとこと

会長 川添 喜郎

会長就任のあいさつに、小林副会長、横尾常任理事・事務長とともに、文部省と日本航空協会に行きました。思い切った世代交替の役員人事に驚かれると同時に、その英断と今後に大いに期待されました。

4月23日の理事会で理事の役務について学習会を行いました。定款に定められた内容に従い、大きく分けると 総会の議決事項以外の事項の審議と議決を行うこと、議決事項の遂行と役務としての業務を行うこと、です。学習をもとに、細かく役務の分担を行いました。理事会もチャートにより議題を整理、議事資料を7日前までに送り理事会当日の審議・議決の効率を図る事になりました。理事会上程の議題は15日前までに事務局必着となります。

決裁・決済は3段階に厳しくチェックします。定款・諸規則に合わないもの、不備なもの(領収書等のないもの)は決済できません。より公正に、連盟予算を適正に執行するのが目的です。

会長または副会長は月～金曜日の間必ずどちらかが事務局に出勤し役務処理・決済します。正会員・フライヤー会員(現普通会員)のニーズや決済にスピーディに対応したいと思います。

以上、新体制は着々と整ってきました。私は今まで以上に情熱をもって取り組んでいます。正会員・フライヤー会員の皆さんと共にJHFを活力あるものにしたいと思います。よろしくお祈りします。

副会長 小林 朋子

最近、いろいろな人にお会いする機会が

増えました。会長の代理として出席する会議や打ち合わせもあります。私の話す言葉がJHFの考え、と捉えられる場面もあって、緊張の連続です。

フライヤー登録移管に伴って構築する新しいデータ管理システムはDECADEと名付けられました。理事・幹事の中から決めた5名からなるチームが仕様を考えました。私を取りまとめ役になりました。寝言で「フライヤー登録…」などと呟きつつ、専門用語にもようやく慣れてきたところです。只今制作を依頼する業者の選考にはいったところです。連日、見積を依頼した複数の業者さんが事務局に来て質問をしていきます。公正な判断の元に、信頼できる業者さんを選び、良いシステムを完成させたいと思います。

週3日程、事務局に行っています。様々な問い合わせや依頼が殺到し、ぼーっとする暇がありません。一つ一つの連絡が相手にとっては非常に重要な事柄のはずですから、大切に対処するよう心がけています。

常任理事 朝日 和博

県の教育庁保健体育課競技・生涯スポーツ担当より文部省から出された文書が回ってきました。多分全国の各都道府県でも同じように伝達されていると思いますが、内容は今年7月に兵庫県で開催される第4回全国アウトドアスポーツフェアに関するものでありました。その中の事業にパラグライダーの体験教室が入っていました。徐々にではあるが、JHFの行っているスカイスポーツが浸透してきている現れと喜ばしく感じました。

一方、このフェアの開催趣旨のなかに、自然への理解不足・マナーの欠如等の問題点がある事と、指導者の育成が重要である事が指摘されていました。これは喜ぶべきと同時に、今後の課題を与えられていると思いました。

我々のスポーツは自然の懐で楽しませてもらっています。また多くの人々に支えられています。この事は絶対に忘れてはならないと思いました。

常任理事 関谷 暢人

先日、パラグライダー・ジャパンリーグ大会を開催し、選手たちの技術と機材の性能が大きく向上したことに驚嘆した。テイクオフの時ライズアップワークは殆どのパイロットがPWC戦を彷彿するようなテクニクを披露し、移動の速さは平均時速23km/hで53kmを飛行するなど、時にハンググライダー以上の性能を発揮、選手たちは1分刻みの競いに全神経を費やしていた。そして、なによりアクシデントが確実に減少(本来、ゼロが理想ではあるが)した。のべ200人のフライトで3件のツリーランディング、けが人はゼロと確実に選手・機材共に進化している。

その進化した技術を自分だけのものに止めるのではなく、ぜひ、仲間や後輩連に伝授し、パラグライディング全体の向上に役立てていただきたい。

常任理事 横尾 和彦

新体制もスタートし、私自身の立場も大きく変わり、まず「的確に業務を消化してゆくこと」に注意を払っております。各種

事業の進捗状況も気になるところです。JHFフライヤー会員会費制度のスタートへの準備、スカイレジャー航空無線の申請等です。

爽やかな風の5～6月が過ぎましたが、皆さんにはよい風は吹きましたか。世界選手権等の海外競技会へ出場される皆さん、頑張ってください。吉報をお待ちしております。

理事 岩間 雅彦

2期目の理事を努めつつ最近良く考えることは、JHFに限らず、組織の中に入ってしまうと、組織の拡充に意識が行ってしまうということです。歴史の浅いJHFの場合、未整備な部分も多いので、ある程度はやむを得ないとしても、組織の拡充は固定費の増加をもたらします。JHFはフライヤーのためのサービスと将来のフライヤーを増やすための機関である、という観点からは、組織のために費やすコストをできるだけ少なく抑えて、本来の目的達成のための「事業」により多くの資金を投入すべきだと思います。来年の1月にフライヤー登録が日本航空協会(JAA)からJHFに移管されると、JHFや都道府県連の財政基盤が大きく変わるはずですが、それによってJHFという組織が肥るのではなく、フライヤーや将来のフライヤーのために使われる予算がどれだけ増えるかが、一般フライヤーからみた評価になるのではないかと考えています。

理事 田中 美由喜

7月3日よりいよいよ、パラグライダーの

世界選手権がオーストリアで開催されます。1989年に第1回目が開催されてから10年が過ぎ、今年第6回目を数える世界選手権も参加国が40以上と、ますます全世界にスカイスポーツが浸透してきていると感じさせます。

今回の日本のチームも2年間世界選手権を目指し大会を勝ち抜いてきたパイロットです。ここ2～3年、日本のパイロットも積極的にワールドカップに参加したりとレベルは確実に上がってきており、優勝を目指すことも夢ではなくなりつつあります。国別順位も6位入賞を目指すことが可能となってきています。世界の強豪に伍していける実力がついてきた日本チームの活躍が楽しみです。各国とも世界選手権への派遣は一大事業であり、その国の威信をかけて大会に臨みます。

私も今回選手の一員として参加しますが、日本を代表する選手としてまたチームとしての意識をしっかりともち、大会に参加したいと思います。

理事 松田 保子

来年1月のフライヤー会員・会費制度スタートに向けて、JHFは大変身の準備中。理事はそれぞれ忙しく働いています。私も広報出版局担当として、出版事業はどのように進めていくか、広報活動はどんなふう展開していくか、いろいろ頭を悩ませているところです。あれもやりたい、これもやらねばと、数えあげるときりがないけれど、どれも中途ハンパになってしまっは、元

も子もない。「焦らず着実にやるべし」ですね。(締切がどんどん迫ってきて焦っているだけという見方もあるが...)

幸い、松永文也さんが、広報出版局のもう一人の担当理事になってくれました。心強い限りです。まずはJHFレポートやホームページを読んだり利用するのがフライヤーの常識になるように、内容を充実させていきたいと思っています。応援してください。

理事 松永 文也

先日SPSの第一戦に行つて恒例の大会実況放送をしてきました(もちろん私人としてです)。フライトを終えてもランディングに留まって他の選手達の一挙一動を見守る雰囲気って実に大会っぽくていいなあ、と思いながら選手の動向や気象の変化、出店の宣伝などを放送しておりました。放送席(あずまやの手すり!)で、良い笑顔で笑う選手達の姿を見ながら、この人達がパラグライダーは楽しいし、危険性だって充分コントロールできるんだよ、という事を自信を持って友人に話す事ができれば、あれこれお金をかけなくてもフライヤー人口は自然に向上くんじゃないかな?と思いました。もちろんハンググライダーだって同じ事です。

というわけでこれを読んでいる皆さん、ハンググライディング、パラグライディングを充分に楽しんでください。そして、それを素直に表現してみてください。どんな政策よりもそれが大切だと思います。

## 事務局から

技能証再発行について

紛失したので再発行してほしい

あなたの技能証は、A:旧来の厚紙にラミネート(パウチ)加工をしたもの、B:現行のテレホンカードタイプのもの、どちらでしたか。Aなら、申請書と依頼書に必要事項を記入してください。技能証番号や教員氏名等、あなたのデータを探するための手がかりが必要です。Bなら、申請書に必要事項を記入するだけでけっこうです。

旧来の技能証数枚を1枚にまとめた

技能証全部のコピーを添えて申請書を送ってください。練習生以外の技能証で

は、写真1枚が必要。手数料は3,000円です。  
\* Aタイプの技能証をまとめる時にコピーが必要なのは、過去の技能証発行データがJHFのコンピュータに入力されていないので、個人データを入力するためです。ご協力ください。

\* 再発行申請時に依頼書に記入していただくのも、上記と同じ理由です。特に教員の氏名がわかると、データを探しやすくなります。

\* と いずれの場合も、昼間連絡できるあなたの問い合わせ先をお知らせください。

### 世界選手権速報をホームページで

7月2日～18日にオーストリアでパラグライディング世界選手権が、7月24日～8月8日にイタリアでハンググライディング世界選手権が、それぞれ開催されます。

世界の強豪パイロットを相手に頑張る日本チームからの速報を、JHFホームページで読むことができます。現地の熱い空気をホームページで感じてください。届いた情報は即掲載しますので、乞うご期待。JHFレポートでも報告を掲載する予定です。

ハン グ グ ラ イ デ ィ ン グ	P証		P証	17,678	
	C証	4,786		NP証	8,048
B証	6,706	補助動力NP証	63		
A証	11,240	B証	38,632		
補助動力証	10,654	補助動力B証	120		
XC証	1,067	A証	41,524		
		補助動力A証	145		
		補助動力証	877		
		XC証	3,302		

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

## JHF レポート7月号 (No.150)

発行日 1999年6月20日 定価 10円  
発行 (社)日本ハンググライディング連盟  
〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4F  
TEL.03-3592-2651 FAX.03-3597-0245

編集 JHF 企画部広報出版局

印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。